

# コネクテッドカーガイド 法規制編



## 法規制を活かしたテレマティクス・ナビゲーション戦略の策定を可能に…

車載テレマティクスおよびナビゲーションの開発にあたって、車両メーカーやそのパートナー企業にとってはこれまで以上に法規制、ライセンス要件といった課題への取り組みが重要となっています。本ガイドは、中国、インド、ブラジル、ロシア、欧州、米国における法規制やライセンス要件を解説し、これによるビジネスチャンスや課題を特定するとともに、各国において現在有効な法規制が車両メーカー、Tier 1 サプライヤー、通信プロバイダー、テレマティクスサービスプロバイダー、保険会社に及ぼす影響について検証します。

全 170 ページの本ガイド内の情報は、政府の取り組み、市場/国、コンポーネント毎にインタラクティブに検索することができます。また購入頂いた方には、3 カ月に一度 (2011 年 12 月 および 2012 年 3 月) 最新データを基にアップデートしてお届けし、最新の情報を確認して頂くことが可能です。



### コネクテッドカーガイド (全 170 ページ) で取り上げる内容:

- 法規制の概要と、自動車テレマティクス業界に及ぼす影響
- 法規制や要件が生み出すチャンスと課題
- 法案制定プロセス、政府主管部門、マイルストーン
- 法規制をビジネスチャンスにつなげるための提言

本書の詳細については、下記までお問い合わせください。

**SBD ジャパン**

近藤真子

mkondo@sbdjapan.co.jp / 052 253 6201



## ▶▶ 主要 6 市場 法規制の状況を調査 ....

多くの国の政府では、コネクテッドカーに対する特定の技術搭載を義務付けるあるいは運転中の使用を禁止する法規制の導入開始を検討しています。

SBD の「コネクテッドカーガイド ~ 法規制編」は、現行および検討中の法規制について、法案制定プロセス、政府主管部門、マイルストーン、自動車業界への影響を検証しています。

本書は、コネクテッドカーに影響を及ぼす法規制がどのように/どの地域で検討あるいは実施されているのかについての国別調査を提供します。また、法規制が実施される可能性および、車両メーカー、Tier 1 サプライヤー、通信プロバイダ、テレマティクスサービスプロバイダに及ぼす影響についても検証します。

本書内の情報は、国/市場、政府の取り組み（義務化、制約、政策、ライセンス、ガイドライン）、コネクテッドカーのコンポーネント（HMI、モバイル端末、ナビ、ラジオ、地図、テレマティクス）といった項目ごとに検索・閲覧することができます。

このインタラクティブなガイドの記載例は下記の通り:

表示するボックスをクリックしてください。

メインメニュー

概要	最重要動向およびその影響について
政府の取り組み	義務化 - OEMIに対し、車への装置の搭載を義務付ける法規制
	制約 - ユーザーによる機能使用に関する制約
	政策 - サポート技術の採用に影響する政策決定事項
	ライセンス - サービスを提供する企業の限定
市場/国	ガイドライン - 機能の実装方法に関する推奨事項
	米国
	欧州
	中国
	ロシア
コネクテッドカーのコンポーネント	ブラジル
	インド
	HMI(マン・マシン・インターフェース)
	モバイル端末
	ナビ
	ラジオ
	地図
	テレマティクス

3

HMI、携帯端末、ナビ、ラジオ、地図、テレマティクスといったコンポーネントに対する政府の規制や義務化について総合的に記載

表示するボックスをクリックしてください。

メインメニュー

欧州

概要	最重要動向およびその影響について
政府の取り組み	義務化 - OEMIに対し、車への装置の搭載を義務付ける法規制
	制約 - ユーザーによる機能使用に関する制約
	政策 - サポート技術の採用に影響する政策決定事項
	ライセンス - サービスを提供する企業の限定
市場/国	ガイドライン - 機能の実装方法に関する推奨事項
	米国
	欧州
	中国
	ロシア
コネクテッドカーのコンポーネント	ブラジル
	インド
	HMI(マン・マシン・インターフェース)
	モバイル端末
	ナビ
	ラジオ
	地図
	テレマティクス

10

欧州、米国、中国、インド、ブラジル、ロシアにおける義務化、制約、政策、ライセンス、ガイドラインについて詳細に解説



# SBD の基本理念

SBD は 1995 年の設立以来、自動車業界向け技術動向調査レポートやエンドユーザー調査といったサービスをグローバルに展開し、お客様の戦略構築をサポートしています。

SBD の技術エキスパートチームが、お客様の状況を正確に把握し、各国の市場ニーズ・技術要件の理解と費用対効果の高い製品開発を支援します。

## 本書の著者について



スティーブン・ロングデン: ITS & テレマティクス スペシャリスト

ウエストミンスター大学で交通計画・経営管理の修士号を取得後、「The Intelligent Highway」誌の編集者となる。

SBD では、自動車テレマティクスとナビゲーションの調査分析を担当。これまでに様々な ITS アプリケーションの調査に携わり、中国を始めとする新興市場ならびに eCall などのプログラムのエキスパートとして活躍している。

欧州とアジアの会議やセミナーでは優秀なスピーカーとして表彰されている。

## 本書のご購入形態

※下記は税抜価格です

レポート名	日本語版 PDFデータ
コネクテッドカーガイド 法規制編 (SBD/TEL/3610)	¥300,000

お問合せ先:

**SBD ジャパン**

担当: 近藤 真子

Eメール: [mkondo@sbdjapan.co.jp](mailto:mkondo@sbdjapan.co.jp)

Tel : 052-253-6203

## 関連レポート



### 中国のテレマティクス関連法規制の壁を乗り越えるには

OE テレマティクスサービスは中国で成長期を迎えています。海外の自動車メーカーは、政府の干渉や、厳しい認可制度への対応に苦慮しています。本書では中国のテレマティクスに関する政府関与の現状と今後について、ライセンス要件、法規制、政府関与の方向付けに重要な役割を果たす関連団体について焦点を当てながら検証するとともに、中国におけるテレマティクス展開を成功させるための提言を行っています。

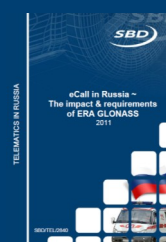
レポート番号: SBD/TEL/2850



### 欧州全域 eCall 法制化への対応

EC(欧州委員会)では、型式認定を受ける全新型車について欧州全域公共 eCall の義務化を内部決定しましたが、これにより欧州のテレマティクス業界はその姿を大きく変えることとなります。本書では、公共 eCall の円滑な導入と普及にあたっての課題等を検証するとともに、自動車メーカーをはじめとする関連企業への義務化への対応について提言します。

レポート番号: SBD/TEL/2800



### ロシアの eCall ~ ERA GLONASS の影響とその要件

2013 年以降全ての新規型式認証車両にロシア版 eCall「ERA GLONASS (ロシアの衛星測位システムを利用した緊急支援サービス)」の搭載を義務づける法案が提出されています。本書は、ロシアでのこの法案制定のプロセス、技術要件、さらに自動車メーカーにとってのビジネス面での影響をまとめています。また、ERA GLONASS 運用に緊密に関わる専門家からの情報に基づいて、サービスアーキテクチャから通信要件、車載ハードウェア要件までを含めた上記法案の技術要素を解説しています。

レポート番号: SBD/TEL/2840